

石井としひろの「館山市政かわら版」

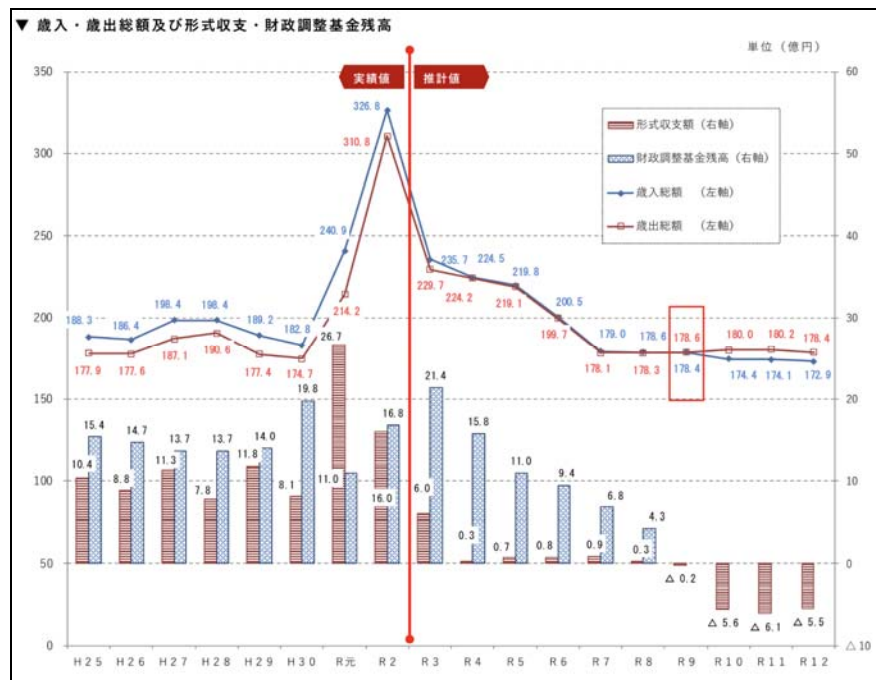


館山市議会議員

持続可能な政治を！

1、館山市の厳しい財政状況は続く

① 机上の計算だと10年後に財政破綻



図は市の財政推計ですが、ざっと見ると、令和9年に貯金（財政調整基金）が尽きて、それ以降は年間に約5億円の赤字が続きます。図には書いてありませんが、この単純計算だと令和14年に館山市は財政再生団体に転落します。いわゆる財政破綻というもので、夕張市と同じ扱いになります。

実は5年前も状況はほぼ同じでした。そして令和4年に貯金が尽きる予定だったのです。でも、台風災害からの復旧、コロナ対応、大型公共施設の建替え（給食センター・館山中・ごみ処理場）といったイレギュラー対応を、国からの補助金の活用や建設費用の切り詰めで何とかやりくりできました。前澤友作氏からの寄付である前澤基金は主に観光目的と指定されていましたが、この基金もコロナ対応を含めて活用してきました。

結果として、5年間はそのまま維持できましたが、基本的な赤字体質は変わっていません。だから、頑張っても5年間の先送りはできましたが、いずれ資金がショートしてしまう未来は変わっていないのです。

② 財政破綻した夕張市は低福祉・高負担

夕張市はどうなったかという、2007年の破綻前に約1万3千人いた人口は今や約7千人に激減。若者が去っていきました。

面積は館山市の約7倍と広いですが、小学校は1校、中学校は1校のみです。なお、破綻前は小学校が7校、中学校が4校でしたが、国の再建計画により強制的に統廃合になりました。

市の職員数も半分未満になり、給与も3割カット。軽自動車税が5割増しになるなど、あらゆる市民負担が増

大。道路が損壊しても、なかなか直しに来ないというひどい状況になってしまいました。

③ 財政再建は公共施設の再編が重要

夕張市が破綻したのは、炭鉱の閉鎖による人口減少が大きな理由ですが、観光のために過度なハコモノ行政を行ってしまったのも要因です。公共施設を作れば、人を配置しなければならず、その人件費が特に財政負担になるのです。

館山市においても公共施設の再編は重要です。2040年の人口は推計だと約3万5千人になります。予想よりも人口を増加させたとしても、4万人には達しません。特に、小学校・公民館・プール・消防詰所は統合が必要だと思います。また、財政的な問題もさることながら、施設は一定の人数がいないと活動も停滞するからです。

④ デジタル化を推進してスペースを省く

市庁舎も老朽化してきており、15年後くらいには建て替わっていなければなりません。そのためには庁舎建設基金を積み増すべきところ、現状をしのぐために取り崩さざるを得ないという厳しい状況です。館山市の財政問題は、市庁舎の建替えの目途がつくかがポイントになります。

市役所は文書で物事を管理しているので、民間企業よりも保管資料が多くなります。今後はなるべく庁内業務にはPCやタブレットを利用し、紙を使わないようにすべきです。これは業務効率化にもつながりますが、紙の保管を減らすことにもなり、庁舎建設が少ないスペースで済むことになります。

ちなみに自分は議会質問の時は紙を印刷せずに、PCとタブレットを使って済ませています。慣れると、この形式の方が楽ですし、紙もたまりません。



2、地方政治と国政の絡む分野

① JR 東日本のローカル線問題

JR という鉄道会社は基本的に営利企業です。しかしながら、公共交通と呼ばれるように公共性も持っています。法律では「JR 会社法」によって、地域の公共交通を守っていく努力義務があります。だから、赤字路線でもすぐに廃止されないわけですが、営利企業なので一定の削減はあるわけです。

② JR 内房線の館山市内の状況

JR 内房線も乗客が減っていることから、徐々にダイヤも少なくなってきたり、無人駅も増え、電車も多くはワンマン列車になってしまいました。

でも、館山市内に関しては、館山駅は駅員のいる立派な駅であり、那古船形駅と九重駅は無人駅とはいえ、階段を上らないで済むようになっており比較的に恵まれています。館山駅発の高速バスも充実していることから、電車とバスを合わせて考えれば、館山市内の鉄道状況はまずまずかも知れません。

しかし、JR 東日本もコロナ禍により採算性が悪化し、地域の公共交通をかなり切り捨てていく可能性があります。

③ 参議院議員の青木愛さんに国交省とのパイプ役を依頼

私も入っている「内房線と地域を守る会」という団体では年に1回、国土交通省と意見交換会をしています。JR 内房線のダイヤを維持していくことを目的としている団体ですが、6年前から青木愛参議院議員（全国比例区選出）の仲介により、こうしたロビー活動ができています。また、JR 千葉支社とも年に1回の意見交換会を行っています。住民団体でこうした活動をしている例は聞いたことがないので、やはり国会議員のサポートは大きいと感じています。

国交省の官僚や JR 東日本の管理部門の人と話していると、ほとんどローカル線に乗っておらず、現場感覚が足りないように見えます。JR 内房線を残していくためにも、今後も現場の声を届けていく必要があります。

④ 意外と良かった国による台風の復旧補助

2019年の台風15号対応ですが、千葉県は後手後手で県の職員が館山市に来たのも4日後くらいでした。一方、国の職員は2日後には関係省庁から来ています。

台風の復旧には約60億円がかかりましたが、その大部分は国が負担したので、市の負担は実質的には約7億円で済みました。9割近くを国と県が負担したわけです。

青木愛参議院議員も災害ゴミ処理の国からの補助について国会で質問してくれました。結果として97.5%もの大きな割合を国が負担してくれることになりました。災害ゴミの処理費は約20億円と莫大であり、その負担分が2.5%の約5千万円で済んだのは幸いでした。当初は10%の負担という話だったので、かなり市の財政負担が減ったこととなります。



【左は台風復旧のボランティアをしていた私。右は被害状況を確認に来た青木愛参議院議員。館山市布良にて2019年9月21日撮影】

[ワンポイント政治講座](#) ご存じですか？

参議院選挙の仕組み

<投票用紙1枚目>

千葉県選挙区の「候補者名」

を記載

<投票用紙2枚目>

全国比例区の「候補者名」

(または、政党名) を記載

*政党のなかでは、氏名を多く書かれた候補者が当選していく仕組みです。

石井 敏宏 略歴
昭和47年2月 館山生まれ。
館山二中、安房高、立教大学
法学部卒業。平成23年4月に
館山市議会議員に初当選。



<発行者> 石井としひろ 後援会
〒294-0038 館山市上真倉320-2
TEL&FAX: 0470-23-7738
携帯: 090-1557-5515
メール ishiitoshihiro1@gmail.com
ブログ <http://ameblo.jp/ishiitoshihiro/>